

平成25年度「乳の学術連合」学術研究

→ 募集テーマ・内容

	テーマ	内容
(1) 特定研究	①牛乳飲用慣習の形成について	牛乳価値の世代的・年齢的特徴や継承される価値、価値継承過程の、牛乳飲用慣習の形成に関する要因分析など
	②牛乳の栄養経済性について	牛乳栄養の経済的評価の方法など
	③和食と乳の融合について	食における異なった文化の統合の意義を評価するとともに、和食時に牛乳飲用を忌避する意識や行動の意味付けなど
	④わが国酪農乳業の産業的発展について	日本の乳マーケット及び酪農乳業が世界に類を見ないスピードで拡大し発展した背景の分析、日本の特徴の解明など
	⑤学校給食における牛乳利用の社会文化的評価	戦後における日本人の牛乳飲用の制度的・文化的背景として位置づけられている学校給食牛乳の役割についての多面的総合的分析
	⑥乳をめぐるリスクコミュニケーションについて	BSE、口蹄疫、放射性物質汚染などの最近における多様な疾病や災害に係る酪農乳業界のリスクマネージメント及びリスクコミュニケーションの評価や課題抽出など
(2) 一般研究	乳及び酪農乳業に関する社会的・文化的視点からの研究	わが国における牛乳乳製品に係る食文化的意識、日本人の食生活の歴史的变化との関わり、わが国の酪農乳業の社会経済的な意義など（他の国や民族との比較研究を含む）

上記(1)、(2)の研究への申請のうち8件程度を採用して研究者等を決定します

注)「牛乳」もしくは「乳」とは食品としての牛乳・乳製品を意味します。(「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む)

→ 応募資格

研究者ないし研究グループ
(大学院生を含む)。

→ 委託金額

年間一件当たり原則として
100万円以内とします。

→ 委託研究期間

原則として1年を超えないものとします。

→ 選考方法

「乳の社会文化」学術研究審査委員会が、各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定します。

審査委員会
委員長 生源寺眞一(名古屋大学大学院生命農学研究所教授)
副委員長 和仁皓明(西日本食文化研究会主宰)
委員 江原純子(東京家政学院大学名誉教授)
(五十音順) 大江靖雄(千葉大学大学院園芸学研究所教授)
小長谷有紀(国立民族学博物館民族社会研究部教授)
細野明義(財)日本乳業技術協会常務理事)

申請締切日

2013 木
1/31
必着

「乳の社会文化ネットワーク」は、社団法人日本酪農乳業協会と共同して、「乳の社会文化価値」に係る学術研究を公募します。

「乳の社会文化」学術研究の公募

詳しくはWebから学術研究実施要領をダウンロードしてください <http://www.j-milk.jp/>

社団法人日本酪農乳業協会(Jミルク)内「乳の社会文化ネットワーク」事務局
〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番1号 築地三井ビル5階 電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354
URL: <http://www.j-milk.jp/> 担当: 豊澤誠一郎 E-mail: s-toyosawa@j-milk.jp